

東京とどまるマンション補助金制度 戦略分析

令和7年度版: 非常用電源・太陽光発電設備・V2X設備・浸水対策設備 導入促進事業

作成日: 2025年7月8日

最終更新: 2025年7月1日

Executive Summary

東京都は「東京とどまるマンション」登録物件に対し、最大3,000万円の補助金を提供。非常用電源・太陽光発電設備・浸水対策設備の導入を強力に支援するプログラムである。主な特徴:

✔ **高額補助率:** 最大75%の費用を補助

✔ **申請期間:** 2025/7/1～2026/1/15

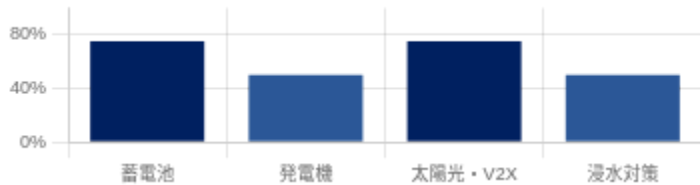
✔ **対象者:** 登録済マンションのみ

補助対象・金額分析

設備種別	補助率	上限額	ROI
蓄電池	3/4 (75%)	18.8万円/kWh または1,316万円	🟢
発電機	1/2 (50%)	1,500万円	🟡
太陽光・V2X	3/4 (75%)	3,000万円	🟢
浸水対策	1/2 (50%)	75万円	🔴

⚠ **注意点:** 太陽光発電設備は2025年7月1日から対象に追加

💡 **推奨:** 蓄電池+太陽光の組み合わせで最大の補助率を確保



申請フロー最適化

- 「東京とどまるマンション」への事前登録確認
- 設備設置計画・見積りの取得
- 申請書類作成・提出 (メール/郵送/窓口)
- 審査・交付決定通知の受領
- 工事契約・設備導入 (交付決定後に着手)
- 実績報告書の提出 (工事完了後)
- 補助金の請求・受領

クリティカルパス分析



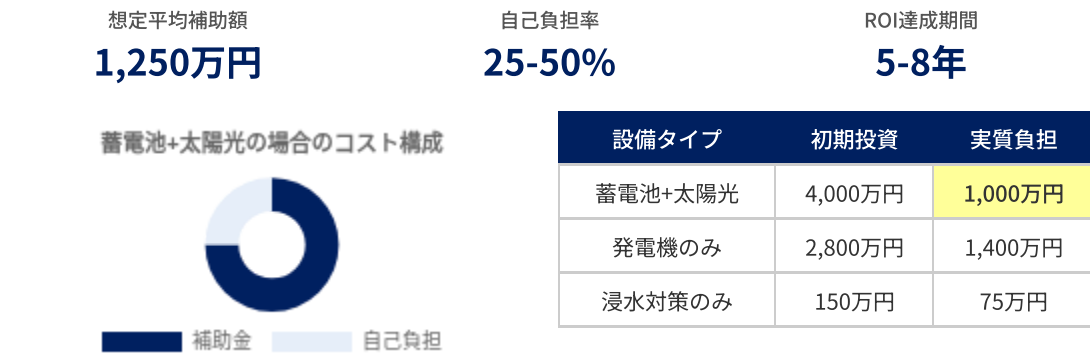
KEY POINTS & リスク分析

- ✔ 非常用電源は、停電時に水供給と1基以上のエレベーター運転が同時または交互に可能な能力が必要
- ✔ 浸水対策は浸水想定区域等のマンションのみ対象。調査・企画費用も補助対象
- ✔ 太陽光発電設備とV2X設備は蓄電池と併用する場合のみ対象
- ⚠ 交付決定前の契約・工事着手は補助対象外となり失効するリスクあり
- ⚠ 申請書類の不備は補正に時間を要し、予算到達による失効リスク増大

対象設備組合せ制限

パターン	蓄電池	発電機	太陽光	V2X
1	✔			
2		✔		
3 (推奨)	✔		✔	✔

財務インパクト分析



🏠 **年間維持費削減効果:** 太陽光発電による電気代削減で年間約80-120万円

💰 **資産価値向上効果:** 非常用電源設備導入により物件価値5-8%向上の可能性

アクションプラン

最優先アクション (1-2週間以内)

- ➡ 「東京とどまるマンション」登録状況の確認（未登録の場合は早急に申請）
- ➡ 3社以上から見積り取得（蓄電池+太陽光発電の組み合わせを優先検討）

中期アクション (1ヶ月以内)

- ➡ 管理組合での意思決定手続き（臨時総会の検討）
- ➡ 申請書類の作成・提出（不備がないよう専門家に確認）

長期アクション (2-3ヶ月以内)

- ➡ 交付決定後の工事発注・契約（交付決定前の契約は補助対象外）
- ➡ 工事スケジュール管理（実績報告期限を踏まえた計画立案）

問い合わせ先

東京都住宅政策本部マンション課
TEL: 03-5320-5008（直通）
事業事務局: 03-5989-1547

重要期限

申請締切: 2026年1月15日
※予算到達次第終了
実績報告期限: 工事完了後速やかに